

なぜ「HEAT20」G1・G2 展示場を建てているのか?

松下孝建設は今まで、鹿児島県に高性能住宅を普及させるために、様々な工法の開発を行ってきました。

2013年には「ハウス・オブ・ザ・イヤー」の大賞を受賞するなど、鹿児島県の住宅が日本中で評価される住宅造りを推進して参りました。

その間、南九州の高性能住宅造りに賛同してくれる熊本や宮崎の工務店と共に九州住環境研究会を立ち上げました。

地球温暖化の影響が如実に表れるようになり、その対策として経済産業省はZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)を推進し、現在の省エネルギー基準よりも厳しい基準で補助金を出しています。

2020年には「省エネルギー基準」の義務化が始まりますが、現在の省エネルギー基準は1999年の次世代省エネルギー

基準を元に改定した基準です。すでに18年前の基準ですが、省エネルギー基準が義務化されなかった我が国ではこの基準でも最高等級の4等級で施工できない工務店が大半なのです。

しかし残念ながら、これが我が国の工務店の現実で、これが我が国の工務店の現実です。同じ材料を使っても、施工方法が違えば全く別物になります。更に良い物を使っているにもかかわらず、高性能な材料は施工性を問われると、逆にとんでもない欠陥住宅になる場合も多いです。最高ランクの断熱材で施工しても、適材適所を認識していない場合は、資金をムダに使っているようなものでも、施工方法について、内断熱は時代遅れなどと評価する施工店もあり、地域の特長や素材を知らず、内断熱も外断熱もそれなりの理由があつて採用されるもの、施工店の好みで採用されるもの

ではありません。

松下孝建設の場合は外断熱と内断熱のハイブリッド工法に到達しています。

2020年基準に最も近いと言われる民間基準!

松下孝建設が現在、取り組んでいる「HEAT20」は国のプロジェクトではなく、現在もキーマンとして国策に提言している、民間の学者グループと地方の高性能住宅をリードする施工店が造っているグループです。「HEAT20」はG1、G2の2種類の性能を提示しています。これは断熱性能や開口部性能に差を付け、この差が地域的にどの程度の差になるのか、解析するため、必要が無いのに高価な材料を無駄に使わない配慮です。住宅は良い材料を使えば良くなるものではない、と言ふことを示しています。素材の節約もまた省エネルギーの原点からです。

表1は「HEAT20」と現在の2013年基準の差を示した

●「HEAT20」G1・G2基準と25年「省エネルギー基準」 表-1

HERT20推奨水準	地域区分	地域区分							
		1	2	3	4	5	6	7	8
外皮平均熱貫流率 UA値[W/(m ² ・k)]	G1	0.34	0.34	0.38	0.38	0.48	0.56	0.56	—
	G2	0.28	0.28	0.28	0.34	0.34	0.46	0.46	—
冷房期の平均日射熱取得率山A値 (平成25年基準と同等)	共通	—	—	—	—	3.0	2.8	2.7	3.2
	中山モデルIV	0.48W/cm ² k							
中山モデルV	0.37W/cm ² k								
25年省エネ基準	UA値(W/m ² ・k)	0.46	0.46	0.56	0.75	0.87	0.87	0.87	—
	O値(W/m ² ・k)	1.6	1.6	1.9	2.4	2.7	2.7	2.7	3.7

もと、松下孝建設のG・1、G2モデルの性能を示したものです。

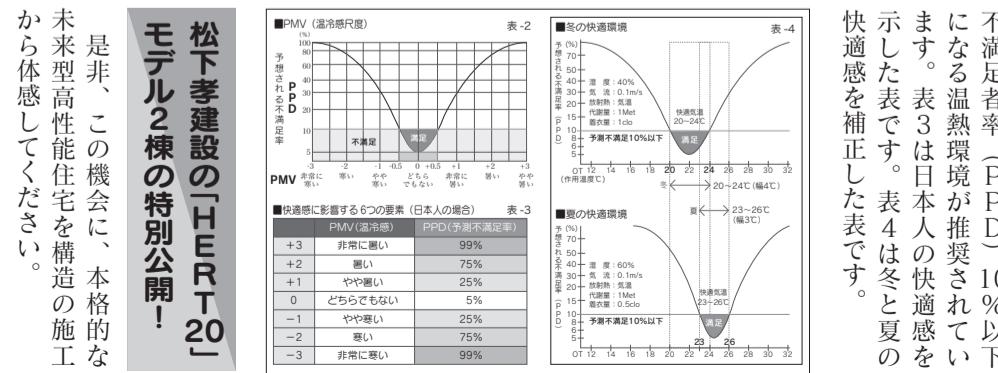
鹿児島市中山に建築中のモデル2棟は「HEAT20」の7地域(鹿児島県基準)とされていますが、これは松下孝建設が必要と考える性能で施工しているからです。

国土交通省のNEB(ノン・エナジー・ペネフィット)「省エネ」以外、居住環境の「湿度」でも、夏の居住環境の「湿度」(室温28℃前後・湿度60%前後)を推奨しています。「PMV」も同様の「湿度」を示していますが、注意しなければなりません。「室温28℃前後・湿度60%前後」の場合の不快感指数は半数以上の人が、不快と感じる数値になります。

これは着衣量が室外の着衣量で算定されているからで、熱中症を防ぐ為にも、冷房を行って室内で着衣量の工夫と湿度管理が重要になります。

最終的には人間の感覚での調整や様々な生活の知恵の応用が必要になります。

私達は移動時や戸外労働以外ほとんどの時間を室内で過ごしているため、室内空間で快適性を求めるためには「明るさや暗さ、



是非、この機会に、本格的な未来型高性能住宅を構造の施工から体感してください。

松下孝建設の「HEAT20」モデル2棟の特別公開!

松下孝建設が目指す国際規格の快適住宅。

新築すれば住宅は高性能になる、同じ材料だから性能も同じ、これは間違いです。

国際規格「ISO7730」PMVで世界的な評価対象の住宅造りに挑戦!

「快適感を構成する住宅の温熱環境6要素」

環境側: 気温、放射熱、気流、湿度 (4要素)

人間側: 活動量、着衣量 (2要素)

ASHRAE(アメリカ暖房冷凍空調学会)のSET*(標準新有効温度)や国際規格「ISO-7730」PMV(予想平均温冷感)を評価する際の「温熱環境6要素」。

「HEAT20」は国のプロジェクトではなく、現在もキーマンとして国策に提言している、民間の学者グループと地方の高性能住宅をリードする施工店が造っているグループです。「HEAT20」はG1、G2の2種類の性能を提示しています。これは断熱性能や開口部性能に差を付け、この差が地域的にどの程度の差になるのか、解析するため、必要が無いのに高価な材料を無駄に使わない配慮です。住宅は良い材料を使えば良くなるものではない、と言ふことを示しています。素材の節約もまた省エネルギーの原点からです。

「HEAT20」は国のプロジェクトではなく、現在もキーマンとして国策に提言している、民間の学者グループと地方の高性能住宅をリードする施工店が造っているグループです。「HEAT20」はG1、G2の2種類の性能を提示しています。これは断熱性能や開口部性能に差を付け、この差が地域的にどの程度の差になるのか、解析するため、必要が無いのに高価な材料を無駄に使わない配慮です。住宅は良い材料を使えば良くなるものではない、と言ふことを示しています。素材の節約もまた省エネルギーの原点からです。

PMVは20年以上も前にISO(国際規格)になりましたが、我が国では普及しませんでした。近年、住宅の性能(環境側)に係わる温度、湿度、放射、気流の4つの要素がバランス良く働く、高性能住宅の建築が可能になったことと、活動量、着衣量という(人間側)の住宅の使い方に係わる、2つの要素が科学的に分析できる様になり、一般住宅でのPMVの測定が可能になっています。

左表2はPMVの温冷感尺度です。±0.5の間に収まっていれば満足評価になりますが、予測不足者率(PPD)10%以下になる温熱環境が推奨されています。表3は日本人の快適感を示した表です。表4は冬と夏の快適感を補正した表です。

寒さ、暑さなど、様々な要望があります。PMVは20年以上も前にISO(国際規格)になりましたが、我が国では普及しませんでした。近年、住宅の性能(環境側)に係わる温度、湿度、放射、気流の4つの要素がバランス良く働く、高性能住宅の建築が可能になったことと、活動量、着衣量という(人間側)の住宅の使い方に係わる、2つの要素が科学的に分析できる様になり、一般住宅でのPMVの測定が可能になっています。

ハイブリッド・エコ・ハートQ
「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」

中山展示場 公開中!

既成の発想を超えたデザインと住宅性能『粋』の家。毎日の暮らしを笑顔にする「らしさ」にあふれた住まい。ライフスタイルに合わせた多彩な暮らしを支えるのは、オリジナル工法「ハイブリッド・エコ・ハートQ」。省エネルギーで家全体が涼しく、温度差の少ない快適な空間を実現。先進の換気システムにより、新鮮で清潔な空気が室内を包み込みます。シンプルでモダンな外観は、重厚さと気品を纏って街に佇み、窓の向こうでは、庭先の緑が風にそよぎます。光をとりこむ開放的なリビングは、家族が集うひだまりの空間。言葉では表せない感動と満足が、手の届く価格で我が家に。暮らしの「粋」をぜひご体感下さい。

ハイブリッド・エコ・ハートQ
「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」

加世田展示場 公開中!

加世田展示場は将来、ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)の為に太陽光パネルが取り付けられる様に大屋根構造になっています。また、新しく開発された新型暖冷房空調システムが取り付けられており、夏も冬も低温空調による省エネルギーで快適なシステムが稼働する予定です。平屋感覚の住宅ですが、屋根構造を活かして一室だけ2階に居室が設けられています。大きな開口部と大屋根の今までの加世田にはない全く新しいコンセプトで設計された住宅ですから是非、ご覧頂きたいと思ひます。この展示場で新しい松下孝建設に出会えることと存じますので、ご家族の皆様でお出かけください。心からお待ち申し上げます。

松下孝建設の最新空調システム
「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」

鹿児島展示場 公開中!

鹿児島展示場は、「ゼロ・エネルギー・ハウス」対応のモデルハウスです。松下孝建設の『ハイブリッド・エコ・ハートQ』工法は、エネルギー消費が少なく、多くのお施主様が現状のオール電化・電気料金と太陽光発電の設備費用を比較した場合、現状での設備設置を望まれないため、いつでも設置可能なように屋根も太陽光発電対応にしています。発電設備は太陽光発電ばかりではなく「エネファーム」などに選択肢が広がっている他、蓄電池も設置可能なまでに安くなり、「プラグイン・ハイブリッド自動車」での蓄電も可能です。最良の設備が現れるまで、設備の搭載をお待ちいただく事も選択肢のひとつと位置づけ、本展示場は発電設備の搭載を見送っています。

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013大賞仕様住宅

川内展示場 公開中!

本展示場は【ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013】大賞受賞工法の展示場です。エアコン一台程度で冬も夏も快適な暖冷房を可能とした省エネルギー、超高性能住宅です。本展示場は無事売却の運びとなりました。多数のご応募頂き有難うございました。現在、展示公開は継続しておりますので、是非ご覧ください。お待ちしております。

ハイブリッド・エコ・ハートQ「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」

始良展示場 公開中!

ムダを排除して生活のし易さだけを追求すると、ただ広い住宅よりも機能的になります。リビングは吹き抜けになっていますが、冬暖かく、夏涼しい省エネ住宅です。その秘密は、住宅性能の高さにあります。「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013」の大賞受賞を始める優秀賞・優秀企業賞を連続受賞を続けている松下孝建設ならではの快適性と理想的な温熱環境を実現し、デザイン性にも優れた住宅です。本展示場は無事売却の運びとなりました。多数のご応募頂き有難うございました。現在、展示公開は継続しておりますので、是非ご覧ください。お待ちしております。

住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。

0120-079-089